

掲載日:

第九回南相馬市ボランティア活動



参加メンバー(撮影者を含めて6名の精鋭達)



海の近くには、まだ崩れて手つかずの民家が多く見られました



原型をとどめていない自動車



飴細工のようなガードレール



今回のボランティアは、いまだ警戒区域である「南相馬市」です。昨年実施した宮城県と比べ、「まったくの手つかず」といった印象です。作業は、民家のゴミ出しと、庭木の剪定、切りだした枝の粉碎減容化でした。依頼人の所有者の方も、現場に来られ、メンバーの女性社員の主な仕事は「話を聞く」事です。ご近所の方だと、かえって話し難い事もあるそうで、気楽に何でも話せる相手が欲しかったそうです。1日作業しても、一歩も前に進んでいない錯覚にも襲われます。少しでも役に立ったのなら良いのですが...